

財団法人 日本産業技能教習協会
平成18年度事業計画書

平成18年 4月 1日 ～ 平成19年 3月31日

事業計画内容

	講習名	計画件数 (回、人)	17年実績 (回、人)	対前年 (%)
1	フォークリフト運転技能講習	27回 490人 平均 18人	27回 495人 平均 18人	99
2	車両系建設機械運転技能講習 (整地・運搬・積込及び掘削用)	13回 115人 平均 9人	13回 98人 平均 8人	117
3	車両系建設機械運転技能講習 (解体用)	6回 20人 平均 3人	6回 22人 平均 4人	91
4	玉掛技能講習	17回 500人 平均 29人	17回 446人 平均 26人	112
5	小型移動式クレーン運転技能講習	15回 200人 平均 13人	15回 172人 平均 11人	116
6	ショベルローダ運転技能講習	6回 30人 平均 5人	6回 23人 平均 4人	130
7	ガス溶接技能講習	12回 200人 平均 17人	12回 157人 平均 13人	127
8	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	6回 290人 平均 48人	6回 222人 平均 37人	131
9	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習	6回 105人 平均 18人	4回 32人 平均 8人	328
10	地山の掘削及び土止め支保工 作業主任者技能講習	12回 200人 平均 17人	12回 156人 平均 13人	128
11	足場の組立て等作業主任者技能講習	12回 300人 平均 25人	12回 287人 平均 24人	105
12	型枠支保工作業主任者技能講習	6回 100人 平均 17人	6回 99人 平均 17人	101
13	各種特別教育および各種安全衛生教育	20回 330人 平均 17人	20回 277人 平均 14人	119
	合計	2880人	2486人	116

事業計画の概要

講習事業計画は、昨年度より多い人数を計画している。Webページ等による宣伝周知活動が効果を上げ、確実な受講者増を予測している。

18年度は、組織体制の整備、講習事業の内容充実に着目し、業務の改善を図りたい。重点活動にて、それぞれの計画を詳述する。

また、収支両面での改善努力を継続する。

収入については、講習料の見直しを計画している。

支出については、経費の削減、具体的には、事務用品、消耗品の購入見直し、必要外の資料購入の取りやめ等全般を計画している。

重点活動

組織体制の整備：17年度から引続いて、業務フローの見直し、努力を続ける。具体的方策として、公益法人監査でも指摘を受けた事務処理に関わる事項の整備（決裁権、文書処理等）を中心に改善を図る。

講習事業の内容充実：具体的方策として、技能講習修了証の統合カード化を計画している。

これにより、修了証の偽造防止、劣化の軽減等の効果があがることを期待している。

また、管理的側面からも、作業の簡易化、軽減等の効果が見込める。

その他としては、講師連絡会議の開催を拡充し、講習の質を高めていきたい。